

令和6年度 北海道中学校バドミントン大会 大会全般の注意

1 全般的事項

- ① 入場は大会関係者及び引率者、選手は8:20、応援などの一般の方は9:00とする。
- ② 荷物は各地区に割り当てられている場所に置くこと。応援のための席の移動は制限しない。
- ③ 原則として敗者監督（地域クラブ活動指導者、外部指導者含む）審判制とする。また、敗者選手は線審を行うこと（単は1名、複は2名）。なお、得点係と単の場合のもう1名の線審は主管地区協会が担当する。
- ④ フラッシュやライトを点灯させての撮影および競技フロア内での撮影は禁止とする。
- ⑤ 別紙の「北海道中学校体育大会熱中症防止対策」「知っておきたいバドミントンのルールやマナー」「公認審判員行動規範について」等を熟読し、大会に臨むこと。

2 試合に関する事項

(1) 全般的事項

- ① 審判団は各試合主審1人、線審2人、得点係1人を配置する。サービスジャッジは準決勝より配置する。
- ② 試合が連続する場合は、前の試合終了後、10分間を確保して次の試合のコールをする。
- ③ 団体戦及び個人戦ともに、トーナメントで上に記載されている方が主審の左側に入場すること。
- ④ 表彰、入退場、試合の挨拶の際は、マナーとしてウェア（上衣）の裾は下衣の中に入れること。
- ⑤ ハードタイプのクーラーボックスの競技エリア内への持ち込みは禁止とする。氷のうは、ソフトタイプの保冷バッグに入れ、コーチ席で保管すること。
- ⑥ うちわ、ハンディファンなどの気流を生み出す道具は、インターバル時のみ使用を認める。ラリー中は、ベンチやコーチ席において使用することは認めない。叩くなどの音を出す行為は、禁止とする。
- ⑦ 今大会はコートサイドにカゴを用意しない。タオル、スクイズボトル（水筒）、滑り止めなどはまとめてバッグに入れ、コートサイド（主審のそば）に置くこと。また、その他の物はコーチ席で保管すること。なお、交換用ラケット（ケースから出しておく）はバッグの上に出しておくことを認める。
- ⑧ コーチ席に入る監督、外部指導者（コーチ）、マネージャー等は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。公認審判員規程第5条第12項（8）によるものとする。なお、Tシャツについては、チーム名が明記されたチームTシャツ（ロングTシャツを含む）のみ認めることとする。その他のTシャツ（ロングTシャツを含む）を着用は認めない。その適否の判断は、大会レフェリーによるものとする。
- ⑨ 試合中のけが等の応急処置は、レフェリーの確認のもと救護スタッフが行う。その後の処置は各自の責任とする。
- ⑩ 応援は品位を保って行うこと。鳴り物の使用、相手を煽る、囃し立てるような応援は認めない。

(2) 団体戦

- ① 各コートのコーチ席に入れるのは、登録している監督、マネージャー、外部指導者（コーチ）、団体戦に登録されている選手のいずれか2名以内とし、必ずIDを付けることとする。
- ② 団体戦でベンチに座ることができるのは、登録している（男女別）監督、マネージャー、外部指導者（コーチ）、選手とする。チェンジエングの際に、ベンチの移動は認めない。
- ③ オーダー交換は、対戦相手が決まり次第、放送にて案内する。定刻（指定のあった時刻）までにオーダー用紙の提出がないときは、棄権と見なす場合がある。
- ④ マッチ前練習は、チームごとに各マッチそれぞれで3分間行う。団体戦の挨拶が終了後、トーナメントで上に記載されているチームから主審の合図で3分間行うこととする。双方とも必ず練習を行うものとする。
- ⑤ 2コートを同時に使用しての並行試合を行う。試合の勝敗は複1・単・複2のうち、いずれか2マッチを先取したチームの勝ちとする。進行の関係で3コート同時に試合を行うこともある。この場合は監督に確認の上で実施する。また、どちらかのチームが初戦の場合は第2複まで行き、それ以降は（2マッチ先取）後、打ち切る。

(3) 個人戦

- ① コーチ席に入れるのは、男女別を問わず、その学校（チーム）で登録している監督、マネージャー、外部指導者（コーチ）または団体登録選手のうち2名以内とし、必ずIDを付ける。
- ② 個人戦のマッチ前練習は、どちらかが初回戦のみ3分間行う。（3分間の中に主審のコールおよび「ラブオールプレー」が含まれるので、実際の練習時間は2分程度となる。）単の場合は対戦選手と、複はパートナー同士での練習とする。練習球は各自で用意すること。